

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	これからの対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				2つの建物を使用し、大きな室内スペースは取れないが、ドアを大きく開けて部屋を合わせて使ったり部屋を分けたりして活動を工夫して行っている。屋外のスペースも狭く感じる時には近くの公園に行き活動や外遊び等を行い、屋内外メリハリをつけた活動を行っている。また近隣の地区体育館を借りて活動も実施している。今後も地域の資源を最大限活用して活動を行っていきたいと思う。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて8名（児発管・保育士3名・児童指導員4名）が在籍し、状況に応じた配置もなされており適切であるが、更に職員の専門性や経験値を高められるような取り組みを展開していききたい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	95%	5%			建物や敷地内屋外に大きな段差や障害となるような物や箇所が存在しないが手すりなど必要となれば今後の整備も考えていく。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%				現在まで行っている保護者様との定期的な懇談や状況に応じて緊急的な懇談等も行い、綿密に情報交換も行いながら、計画に反映しています。様々な理由により来所が難しい場合もあるため、オンラインでの懇談や電話での懇談など個別対応も今後引き続き行っています。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%				活動に生かせそうな様々な情報を検索したり発見したりしながら、れもんオリジナルの活動となるようにアレンジして実施している。また将来地域に出て生活できる力を養えるような活動も取り入れて先を見据えた計画を行っている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	90%	10%			園外活動時や外遊びの時に地域の子供たちとも交流を持てるよう努めている。公園で遊ぶ時は一緒にやれる事があればこちらから誘い遊ぶようにしている。今後さらに園外活動時や外遊びの時に地域の子供たちとも交流を持てるよう努めていく。児童館との直接的な交流会等は行っていないが、児童館に通うお子さんを希望に応じて受け入れることは行っている。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				できる限り丁寧な説明に心がけている。

保護者への説明等

⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%				報連相を怠らず共通理解を深めていきたい。 そのための手段を今後も更に工夫していきたい。 特にお迎えや送迎時の引継ぎ時は細かくその日の状況が分かるように伝えている。	
⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			・定期的に面談してもらい助かっています	職員が助言するにあたってのスキルを身につけていくため個々のレベルアップを図っていききたい。更に安心して相談や面談ができる環境づくりに取り組んでいきたい。面談は定期で実施している。要望があったり必要があればその都度対面・電話・ZOOM等にて面談を実施している。引き続き安心して相談や面談ができる環境づくりに取り組んでまいります。	
⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	85%	15%		・現状のままで良い	保護者会とまではいかないが就学に関する勉強会を保護者中心で実施する。交流できるスペースを作り更に交流できる仕組みを作っていきたい。	
⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				苦情は特になかった。	
⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				気軽に話しかけていただける雰囲気づくりをしている。スタッフも積極的に保護者様へと話しをしており良好な関係作りに心がけている。子どもたちともお家や学校での出来事や表情を見て必要があれば話をし、心配なことがあればご家庭や学校・関係機関に共有している。 その他軽微な情報はSNSを活用し柔軟な対応ができているが、情報の保護の部分においてSNSの活用を十分気を付けていきたいとも考えている。	
⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				毎月のお便り発送は開所当初から欠かさず行っている。活動予定もより細かくねらいを載せて読みやすく作っている。その情報から利用を検討する利用児もいるため、誰もがわかりやすい様式や書き方で伝達していきたい。要望があれば更に充実した情報発信ができるよう考えたい。	
⑭	個人情報に十分注意しているか	100%				大切な情報のため慎重に取り扱っている。	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%				今年度はBCPを策定しており充実をはかっている。訓練も毎月計画に沿って実施している。
非常時等の対応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%				毎月実施しており実施報告を保護者様には写真等で行っている。今後も引き続き目に見えるような形で行っていく。

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校にいるときより笑う・泣く・話すなど自分の感情を表に出すことができ、おり安心して過ごせる場所になっています</li> </ul>	<p>嬉しいお言葉ありがとうございます。</p> <p>お子様方が安心して、また成長できる場としてこれからも尽力していきたいと思ます。また自立して物事に取り組めるようにまずは自分の思いをきちんと伝えられるようにしていけるよう寄り添っていきます。</p>
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で大変満足しています</li> </ul>	<p>これからも毎日お子様方が楽しく通えて、保護者様も居心地が良いと感じてもらえる環境を作っていきたいと思ます。</p> <p>みかんの良いところは経験豊富な職員が多いところです。それぞれの職員が持ち味を生かし、お子様方に対し親切丁寧な支援や療育を展開できるよう努めて参ります。これからも今と変わらず毎日笑顔でお子様や保護者様をお迎えしたいと思ます。</p>

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点、改善内容
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			二つの建物を使い、下校時間に合わせて学校や学年別に振り分けており活動に最適なスペースを確保できている
	②	職員の配置数は適切であるか	○			定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて8名（児発管・保育士3名・児童指導員4名）が在籍し、手厚く配置がなされている。職員の専門性や経験値を高められるような取り組みを事業所内外において実施している。職員に対する専門指導外部講師に療育や活動に関する直接的な指導をお願いしており今後も継続する。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリー化とはなっていないが、支障はないと感じている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			人事考課を導入・運用し5年目となり、業務改善を含むPDCAサイクルが浸透してきているように感じる。職員とは年に2回以上の面談を行い、人事考課における結果等のフィードバックや様々な意見交換が実践できており、その結果職員間での意思疎通もはっきり行えるようになった。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの実施と公表、また結果を職員に周知し全員で改善に対する取り組みを毎年実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			アンケートの集計をHP上にて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、外部評価は未実施だが実施できるように前向きに進めていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修は計画に基づき毎月全職員対象で実施しており、外部研修は必要に応じて参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談を定期に実施し本人の意向も普段の会話等から引き出したり個別に聞いたりして、それを基に担当者会議上で話し合いを実施し計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			専門指導職員とも連携しより効果的なツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月担当者を中心に立案しているが、活動の振り返り研修も毎月実施して、より効果的な活動にするために修正したり新たなプログラム構築をしたり全職員で考えて行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			前々月までにプログラムの作成を行い、複数の職員による細かなチェックを行い、出来上がった活動プログラムを各ご家庭に配布している。保護者様からいろいろなプログラムがあり飽きない、たくさんの経験ができるなど嬉しい言葉もいただいている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は短時間利用のお子様もいるが必ず活動を行えるよう下校時間に合わせた小グループに分けて実施する等工夫をして取り組んでいる。休日や長期休みでは療育時間が長く取れることから普段取り組めない課題や社会体験活動を行っている。長期休みには継続的な活動を取り入れるなど工夫している。また個々の成長に合わせた活動や次の段階に向けた取り組みを組み入れたプログラム（SSTを含む）を利用児・保護者に伝え取り組んでいる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			複数の関係職員で検討し、本人の希望や意向、保護者の意向を特に考慮して本人に必要なかつ合った療育・支援が実施できるよう作成している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝利用児の確認・活動の確認、職員配置の確認等実施している。ZOOMも取り入れながら引継ぎ等も実施している。またそれらの内容が職員全員に確実に伝わるようSNSでの共有をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	○		毎日参加できる職員でミーティングを行い主に前日の振り返りも行っている。(管理者ミーティング・部門別ミーティングを実施) 記録もとり、ミーティング不参加職員には別途連絡し、ZOOMも取り入れながら確実に引継ぎ等実施している。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		気づき・振り返り等も含め記録をして、療育や支援に問題点があれば関係する職員と共に検証・改善に対する話し合いを実施している。
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児発管を中心に関係機関との連携を図り助言等をもらい、担当者との打ち合わせを実施し見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		実施している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議には主に管理者・児発管、その他必要と思われる職員が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校によっては毎月確認調整を行い、その他でも年度初め、学期の切り替わり時期等を含め連絡調整を行っている。 また学校の年間計画書をいただき学校行事の把握を行い、行事によるストレス等も配慮できるように職員間で情報の共有と利用児の関りに努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は在籍していないが必要に応じて行っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		直接情報交換・共有を行っている。担当者会議を行う場合もある。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		未だ事例がないが、今後機会があれば確実に行っていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修には積極的に参加しており、専門機関との連携も図れている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	利用児童の交流は無いが、児童館に通うお子様の受け入れやそれに対する情報の共有などを実施している。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		矢板市の主催する会議へ管理者・児発管が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日の引継ぎを口頭と連絡帳で細かく行い、必要に応じて写真や動画を記録し確認をしてもらっている。個別学習後、保護者から要望があればフィードバックを行い相互理解を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		適宜面談やオンライン面談を通し行っている。事業所に希望者が集まり勉強会・懇談会も実施している。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時・変更時に行っている
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談は定期的実施しており、その中で助言や支援を行っている。連絡帳等を通して保護者様が悩まれている様子があった場合には速やかに連絡を入れてお話を聞いて、助言や支援を行っている
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会等はないが、保護者が集う場(懇談会や勉強会)の提供を不定期ではあるが実施した。

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速かつ適切な対応に心がけている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行し、それに合わせて毎日の活動内容やその狙い、活動の実施内容を詳細に記した計画表を発行している。 専用のSNS（LINE@）を活用し迅速かつ確実な情報発信に心がけている。
	③⑤	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		事務室にて管理しており、職員間においても情報の管理に関する注意喚起を口頭や文面にて行っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子供たちとの伝達方法の中で絵カードの使用について工夫をしている。また絵カードは会議の場で話し合い更新したり追加したりしている。 音田疏通を図るツールは学校やこども園等と連携
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域で開催されるイベントへの参加をしたり、地域交流行事（ゆずフェスタ）を開催して地域との交流を図っている また毎月一回近所のごみ拾いを交流の一環で行っている。今年度多くの地域の方がご参加してくれた。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○		BCPを策定している。 避難訓練は様々な災害や事故等を想定し行っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年間と実施のための計画書を作成し様々な災害や事故等を想定し毎月実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		栃木県が開催する虐待防止・権利擁護研修に参加し、参加した職員による研修を事業所内にて計画的に実施している。
非常時の対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在まで身体拘束の実態がなく、今後もその必要は無いと考えている。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○		保護者からの聞き取りで把握をして、医師の指示書も保護者さんより提出があれば確認している。 アレルギーの一覧表を作成して、食事やおやつの前にも必要に応じて確認するようにしている
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書をまとめ毎月事業所内研修を実施している。研修に取り上げられない報告書は全員目と通すようにしている。